

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

腎機能障害患者及び高齢者における慢性心不全に対する SGLT2 阻害薬の有効性・安全性に関する調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 田中 守（薬剤部長 准教授）

【研究の目的】

糖尿病治療薬の一種である SGLT2 阻害薬のうち、ダパグリフロジン（フォシーガ®）及びエンパグリフロジン（ジャディアンス®）は、糖尿病の有無に関わらず慢性心不全に対して有効性を示すことが明らかとなっており、現在では慢性心不全の薬物療法において重要な薬剤の一つとなっております。しかしながら、腎機能が低下した患者さんや、高齢の患者さんに使用した際の情報は限られているのが現状です。本研究では、これらの患者さんに慢性心不全に対してダパグリフロジン（フォシーガ®）やエンパグリフロジン（ジャディアンス®）を使用した際の有効性や安全性を調査することを目的としています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2020年12月～2022年6月の間に、愛媛大学医学部附属病院（当院）において、慢性心不全に対してダパグリフロジン（フォシーガ®）が使用された患者さん及び2021年12月～2022年6月の間に、当院において、慢性心不全に対してエンパグリフロジン（ジャディアンス®）が使用された患者さんを対象に、カルテ情報を収集します。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、身長・体重、血圧、血液検査結果、心不全

による入院歴、併用薬、ダパグリフロジン及びエンパグリフロジンによる副作用の有無等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 鈴木 雄太

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5731